

海老名市立中新田小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第1回)

- 1 日時 令和4年5月17日(火) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立中新田小学校 生活科室
- 3 出席委員 笠原祐治委員長、檀浦かおり副委員長、鍵渡香代子委員、藤井利秀委員、猪飼誉之委員、井出誠司委員、山本源委員、蕪木扶由美委員、小藺洋委員、宮下翔太委員、

4 会議の内容

- (1) 学校長挨拶
(2) 委嘱状交付
(3) 自己紹介

(4) 会長、副委員長の選出

会長に、笠原委員を選出。

副委員長に檀浦委員を選出。

(5) 令和4年度 学校経営方針等について説明及び協議

～令和4年度海老名市立中新田小学校グランドデザインについて～

檀浦校長：学校教育目標は小中一貫教育として海西中学校区で同じものであり、めざす子どもの姿は「未来を拓く子」具体的には、自ら学び、主体的に行動する子としている。「心豊かな子」は様々な人とよりよく関わろうとする子です。「たくましい子」は心身共に健やかに、粘り強く取り組む子である。

学校教育目標実現のために、目指すべき学校と教師の姿を挙げてある。めざす学校の姿は、「子どもが安心できる安全な学校」、「地域・保護者から信頼される学校」、「笑顔あふれる学校」であり、めざす教師の姿は「自らの質を高め、チームで改革する教師」、「相手の気持ちに寄り添い、しなやかに対応できる教師」、「夢を語れる教師」としている。

職員のグループ・チームの取り組みとしては、「学びづくりグループ」、「心づくりグループ」、「体づくりグループ」に分かれており、グループリーダーは総括教諭が務めているが、若手も学校経営に関わるべきと考え、それぞれのグループに属して担当業務を進めている。ふれパト委員会は地域の自治会等の団体が子どもたちの登下校を見守っていただくものであり、本校は集団登校ではないため、見守りが必要である。その部分をパトロールの皆様にご協力いただいている。

最後にカリキュラムマネジメントチームがある。計画があるから実

施するだけでなく、効果的なものかどうかを考えながら行うために、「年間計画を見通した効果的な教育活動の実践」とした。また、学校教育目標にもある「夢を語れる教師」には、元気が必要であり、そのために「教師が生き生きと教育実践するための改革推進」とし、改革を推進できたらと考えている。

笠原委員長：昨年と比べ、カリマネが入っているところがよいと思う。学校を回っていると、教師が疲れていることを多く見聞きする。「こんな学校にしたい」と教員が話す場がないので、夢を語れる教師というのはとてもよいと思う。

また、ICT活用については、今後大きな課題となってくる。この場でも共有してほしい。子どもたち同士が対面でコミュニケーションを取りながら授業するのも大切だが、これから大切になってくると思われるので、期待している。市内小中学校では、欠席した子がいた場合に使うのか。

檀浦校長：端末を使っての朝の会配信、課題配付を行っている。家庭への配信は個人情報やプライバシーの問題もあるので慎重に準備を行っている。

猪飼委員：高校では、オンライン授業を配信している。欠席生徒への配信だが、発熱にもかかわらず、希望してくる生徒もいるため、休養が必要な生徒には配信しないなど、整理をしたところだ。

井出委員：ICTは保護者との情報共有をし、希望があれば配信している。中新田小学校のグランドデザインは、特別支援と似ていて、心、体、頭となっており、とてもいいグループ名だと思う。

～「海老名市立中新田小学校いじめ防止基本方針」について～

檀浦校長：本校HPにも載せており、学校評価でも評価項目にしている。全校児童には年度当初に「人を傷つけることをしてはいけません。」と話をした。学校でも子どもたちの様子を丁寧に見ていき、心づくりグループと連携をしていきたいと思っている。

山本委員：いじめって未然に防ぐのは難しいし、見つけるのが難しい。弱いものにちょっかいを出すというのは、人間の本質なので、ゼロにするのは難しい。

蕪木委員：中新田小の子どもたちは、できない子を馬鹿にせず、とても優しい子が多いと感じる。先生方もその子にあった対応をしていて、子どもたちにもその温かさが伝わっている。

～日課と学校行事について～

檀浦校長：日課での工夫は、火、水、金の朝の時間に、1時間授業の45分を3つに分け、15分間ずつ中小タイム、モジュール学習として漢字練習や計算練習を行っている。また、まん延防止の時期には、授業時間を短縮し、手洗いの時間を増やすなどの工夫をしながら行っています。水曜日のロング昼休みは、天気の良い日は外遊びをする児童も多く、学校応援団の「ひるえび」もこの時間に行っていた。

学校行事としては、4月に学年懇談会を行った。密を防ぐために授業参観はできない中、担任との顔合わせも含めて懇談会を企画したが、高学年でも8割ほどの参加が見られた。3年ぶりに水泳指導もスタートした。感染対策を行いながらの指導になるが、楽しく学習に取り組んでいる。6月の授業参観はまだ一斉実施の時期ではないと判断し、分散型に変更する予定である。7月には芸術鑑賞会があり、去年は50周年事業ということもあり、PTAのご厚意で子どもたちは無償で鑑賞させていただいた。2学期には行事が目白押しで、修学旅行、野外教育活動、遠足、校内音楽会、もちっ子広場等があります。皆様のご協力をよろしくお願ひします。

(6) 校内授業参観

・シェイクアウト訓練参観も含む

(7) 意見交換

藤井委員：外国語の授業がよかった。恥ずかしがっておらず、元気に取り組んでいたのがとてもよかった。はじめに、ICTの話があったが、SNSのいやがらせはあるのか。

檀浦校長：今は嫌がらせ事案の報告はない。端末は市からの貸与で、友だち同士のやりとりはできないようになっており、写真を送ることもできない。ゲームの課金問題で指導したことはあった。

山本委員：SNSは大人側が追いつかない。子どもは理解も早いし、進むのが早すぎる。

檀浦校長：危ないですよと気をつけましょうと発信することはできるが、機器を与えているのは家庭になるので、最後は家庭での判断となる。大人が見ている所ではそういうことは起こりにくいと感じる。

藤井委員：4年生はデジタルと紙の教科書で行っているんですね。

檀浦校長：プロジェクターが各教室にあり、端末の画像を映している。高学年の端末にはデジタル教科書が入っている。

カードがあれば、区別も付きやすく密にならず安心。

鍵渡委員：やはり、子どもたちには対面でのコミュニケーションがあった方がよい。目の前で触れあうのがよい。子どもたちは親のiPadで使い慣れている。確かに子どもたちを落ち着かせるための道具になるが、幼児や小

学生までは対面で触れあうことが大切。端末は上手に使うのが必要と感じる。

猪飼委員：各教室にプロジェクターがあって、整備が進んでいるなど感じた。高校にはないので、デジタル環境が素晴らしい。体育館もよい。コロナの影響で、子どもたちの変化はあったか。

檀浦校長：昨年はコロナが怖くて、学校に来られないという子はいたが、今はそこまで聞かない。

猪飼委員：高校は保健室相談が多くなった。

井出委員：支援級の様子を見ることができたのがよかった。みんな、しっかり学習していて素晴らしい。支援で困ったことがあれば、ぜひ支援学校に聞いてほしい。小学校と支援学校の交流で、共生社会を小学校から理解させていただけるとよい。

山本委員：皆様の話を聞くことができ、よい学びになった。ありがとうございました。

蕪木委員：みんながすごく楽しそうで、こんにちとは挨拶をしてくれるのが嬉しかった。すくすく育つのをみんなで見守っていければと思う。

笠原委員長：1～6年まで学年が上がるごとに成長している。学校をつくるのは6年生。下級生の見本となる、そういう存在であることをアピールしてほしい。また、以前と比べ、支援に入る大人の数が多くなっている。大勢で見ているよさがある。地域の人が学校に来て行う活動も、今年は少しずつ増やしてほしい。みんな、意欲的な姿をみることができて、これからを楽しみにしている。

(8) その他

- ・次回の日程については、令和4年9月下旬頃、開催予定。

【閉会挨拶】

笠原委員長：とても今回の会はコンパクトでよかった。とてもいい協議会だったと思う。次回は1学期が終わって、成果や課題なども話していけたらと思う。是非皆さん、意見をたくさん出して、盛り上げていきましょう。